

宗祖しゅうそ（元祖がんそ）法然上人御遺訓ほうねんしょうにんごゆいくん

一枚起請文いちまいきししょうもん

【一】

唐土我朝もろこしわがちように、もろもろの智者達ちしやたちの、沙汰さたし
申もうさるる観念かんねんの念ねんにもあらず。また学問がくもんを
して、念ねんのころを悟さとりて申もうす念仏ねんぶつにもあ
らず。ただ往生おうじようごくらく極樂のためには、
南無阿弥陀仏なむあみだぶつと申もうして、うたがいなく往生おうじよう
するぞと思おもい取りて申もうす外ほかには別べつの仔細しさい候そうら
わず。ただし三心四修さんじんししゆと申もうすことの候そうら
は、皆決定みなけつじようして南無阿弥陀仏なむあみだぶつにて往生おうじよう
ぞと思おもううちにこもり候そうらうなり。この外ほかに
奥おくふかき事ことを存ぞんぜば、二尊にそんのあわれみにはず
れ、本願ほんがんにもれ候そうらうべし。

宗祖しゅうそ（元祖がんそ）法然上人御遺訓ほうねんしょうにんごゆいくん

一枚起請文いちまいきしょうもん

【二一】

念仏ねんぶつを信しんぜん人は、たとひとい一代いちだいの法ほうをよくよく学がくすとも、一文不知いちもんふちの愚鈍ぐどんのみ身みになして、尼入道あまにゆうどうの無智むちのともがらおなに同じうして、智者ちしやのふるまいをせずしてただ一向いっこうに念仏ねんぶつすべし。

証しょうのためりようしゅいんに両手印りょうしゅいんをもつてす。

浄土宗じょうどしゅうの安心起行あんじんきぎやうこの一紙いっしに至極しごくせり。

源空げんくうが所存しよぞん、この外ほかに全ま別義べつぎを存ぞんぜず、

滅後めつごの邪義じやぎをふせがんがために所存しよぞんをしる

し畢おわんぬ。

建曆二年正月二十三日けんりやくにねんしょうがつにじゅうさんにち 大師在御判だいしざいごはん